

経営比較分析表（令和6年度決算）

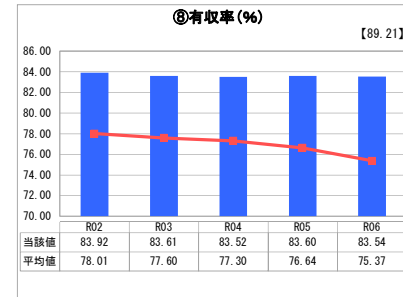
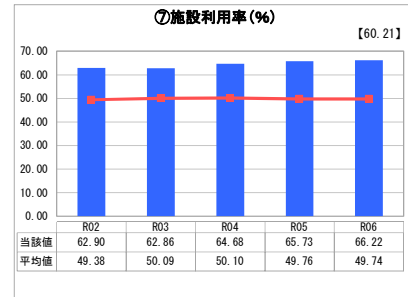
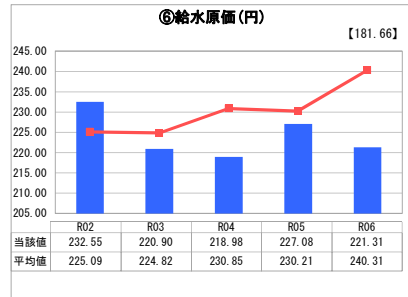
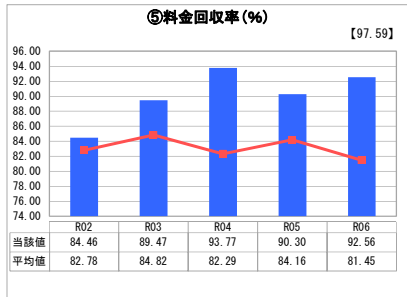
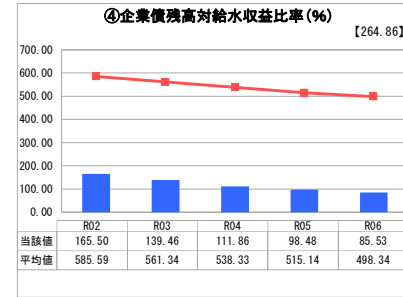
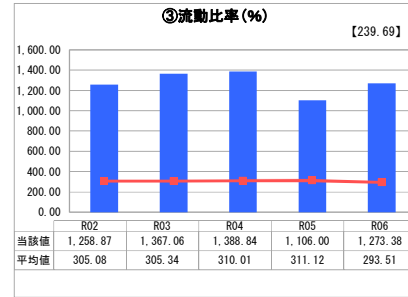
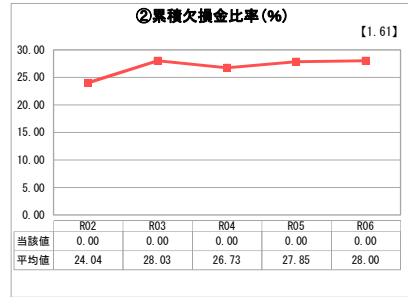
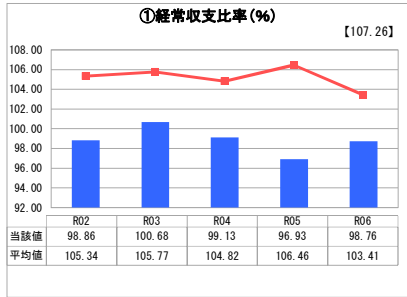
北海道 美瑛町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	94.00	93.13	4,494	

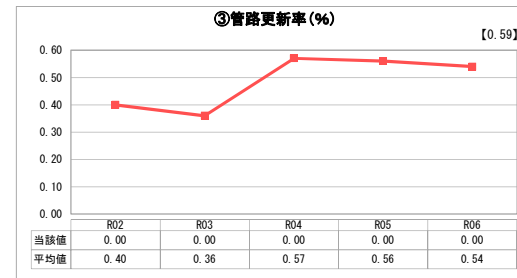
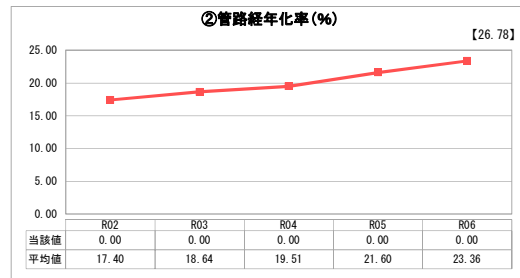
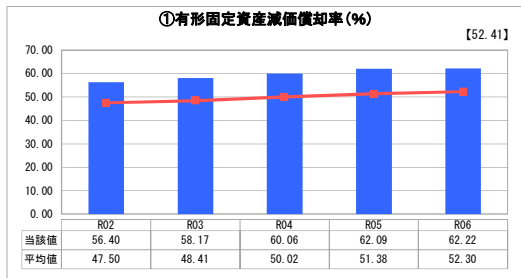
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,283	676.78	13.72
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,255	187.34	44.06

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経常収支比率は100%を下回っており、損失が生じる状況が続いている。流動比率は前年と比較して増加しており、企業債残高対給水収益比率は減少しているが、今後の更新需要の増加により企業債残高は増加する見込みである。

○料金回収率は増加し、給水原価は減少している。維持管理費の適正管理を継続するとともに、安定して給水を行うための施設の更新等の投資活動を行う必要がある。

○施設利用率及び有収率は類似団体平均値と比較して高い状況であり、施設の稼働状況は良好である。

2. 老朽化の状況について

○管路経年化率は低い状況であるが、有形固定資産減価償却率は増加しており、60%を超えている。今後水道基本計画に基づき、耐用年数を超えた管路や優先度の高い管路・施設から計画的に更新を行う必要がある。

全体総括

○経営成績・財政状況・資産状況・施設整備状況等の把握・分析を行い経営改善に努めるとともに、近隣市町村との情報共有・連携強化を図る。

○安定的な給水を行うため、水道基本計画等に基づき水道施設の計画的な更新を行う。

○スマートメーターの導入等により業務の効率化と漏水等の早期発見を図る。